

# 平成21年度当初予算(案)の概要についてお知らせします

**一般会計224億4,000万円、対前年度比19億8,000万円、9.7%の増  
ひたち野うしく小学校の開校に向けて**

平成21年度予算は、市民に対し継続的に質の高いサービスを保証しながら、未来の世代に誇れるまちづくりを実現していくための施策を積極的に盛り込み、対前年度比19億8,000万円、9.7%増、ひたち野うしく小学校の事業費が増加の大きな要因となる中で、一般会計224億4,000万円の予算を編成しました。

歳入予算では、景気の現状を反映し、市税が対前年度比約3億円、2.4%減となり、特に法人市民税が14%の減収となる一方で、保育園2園の開園に伴う保育料の増加に伴い、分担金、負担金が約30%の増、ひたち野うしく小学校の整備などにより市債が約37%の増加となっています。

歳出予算ではゲリラ豪雨の被害から市民生活を守るために雨水対策事業を強力に推進し、安全安心に立脚したまちづくりに取り組むほか、牛久駅東西口へのエレベーター設置やパスポート取扱窓口を市役所に開設するなど、市民の利便性を拡充する施策が盛り込まれています。

## 牛久市各会計予算 (単位：千円、%)

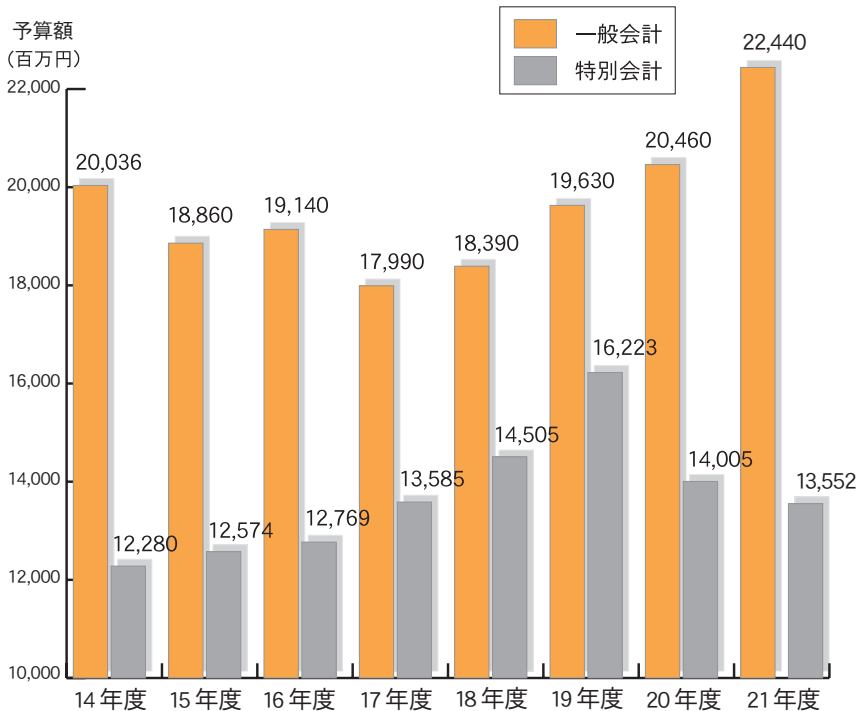
会計名	平成21年度		平成20年度		比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	22,440,000	62.3	20,460,000	59.4	1,980,000	9.7
国民健康保険事業	6,771,000	18.8	7,234,000	21.0	△463,000	△6.4
公共下水道事業	2,516,000	7.0	2,071,000	6.0	445,000	21.5
青果市場事業	21,000	0.1	20,800	0.1	200	1.0
老人保健事業	8,500	0.0	396,000	1.1	△387,500	△97.9
小規模水道事業	29,000	0.1	23,800	0.1	5,200	21.8
介護保険事業	2,905,000	8.1	2,708,000	7.9	197,000	7.3
工業用地造成事業	464,500	1.3	805,000	2.3	△340,500	△42.3
後期高齢者医療事業	837,000	2.3	746,000	2.1	91,000	12.2
特別会計合計	13,552,000	37.7	14,004,600	40.6	△452,600	△3.2
合計	35,992,000	100.0	34,464,600	100.0	1,527,400	4.4

また、特別会計については8つの特別会計で総額135億5,200万円、前年度比3.2%の減となりました。

- ◆国民健康保険事業特別会計は、一般、退職者の保険給付費の減により対前年度6.4%減の67億7,100万円。
- ◆公共下水道事業特別会計は、雨水建設事業費の増加により対前年度21.5%増の25億1,600万円。
- ◆青果市場事業特別会計は、管理経費の増加により対前年度1%増の2,100万円。
- ◆老人保健事業特別会計は、後期高齢者医療制度の実施により対前年度97.9%減の850万円。
- ◆小規模水道事業特別会計は、管理経費の増加により対前年度21.8%増の2,900万円。
- ◆介護保険事業特別会計は、介護報酬算定の見直しにより、対前年度7.3%増の29億500万円。
- ◆工業用地造成事業特別会計は、年度内での事業完了見込みにより対前年度42.3%減の4億6,450万円。
- ◆後期高齢者医療事業特別会計は、高齢者の医療費増加により対前年度12.2%増の8億3,700万円。

## 各会計合わせて360億円、緊急の課題に取り組み、 持続的発展を続ける将来の牛久市に照準を合わせて

年度別会計予算額の推移



一般会計は行財政改革の取り組みにより生み出された経費を、まちづくりの投資的事業へ充てることにより、平成17年度以降、着実に予算額を伸ばし、平成21年度予算は平成10年度以降、対前年比で最も高い9.7%の伸び率となりました。

一方、特別会計は後期高齢者医療制度の創設などにより、平成19年度以降は減少に転じています。雨水対策事業や生活道路の整備、保健事業の推進など緊急の課題への取り組みやひたち野うしく小学校の開校、保育園の開園、牛久消防署東部出張所の開所など、長年の課題とされていた事業の完了が間近に迫る中で、持続的発展を続ける将来の牛久市の姿に照準を合わせた事業展開がますます重要となっています。

## 安らぎに満ちた市民生活と魅力あるまちづくりのために、 必要とされる事業へ積極的に予算を配分

平成21年度の新規または特徴的な事業としては…

### 総務・衛生

- ・ パスポート窓口の開設
- ・ 防犯カメラの設置
- ・ 集会所整備に対する補助
- ・ 妊婦健診補助の拡充
- ・ 地球温暖化対策の推進
- ・ バイオマスタウン構想の実現

### 民 生

- ・ 民間保育園の開園と運営費補助の拡大
- ・ 次世代育成支援行動計画の策定
- ・ 特別保育実施施設の拡大
- ・ 障害者の自立に向けた施策の推進
- ・ 地域活動支援センター機能の拡充
- ・ 医療福祉費支給制度の推進

### 農業・商工・消防

- ・ 森林の整備と里山の再生
- ・ 耕作放棄地の拡大防止
- ・ 牛久沼周辺の整備
- ・ 牛久消防署東部出張所の開所
- ・ 防災広場の整備

### 土 木

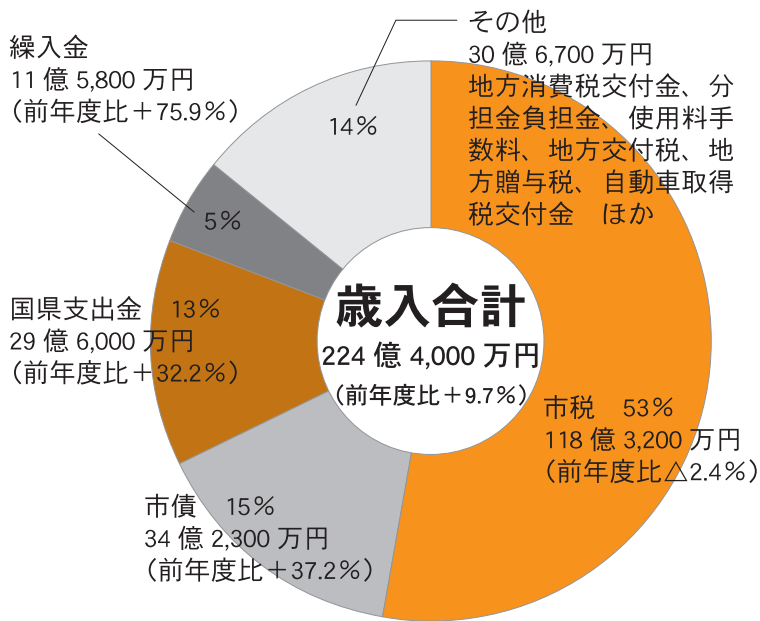
- ・ 牛久駅東西口にエレベーター、西口にエスカレーター設置
- ・ 市道23号線(北側延伸分)の整備
- ・ 雨水対策事業の推進
- ・ 東猫穴地区都市緑地基本計画策定

### 教 育

- ・ ひたち野うしく小学校の建設
- ・ 向台小学校大規模改修
- ・ 城址公園の整備
- ・ 中央生涯学習センターの施設改修
- ・ 児童クラブの運営

### 特別会計

- (介護保険事業)
- ・ 特定高齢者の把握と予防事業の強化
- (後期高齢者医療事業)
- ・ 高齢者医療制度の安定的な運営
- (工業用地造成事業)
- ・ 企業誘致施策の推進

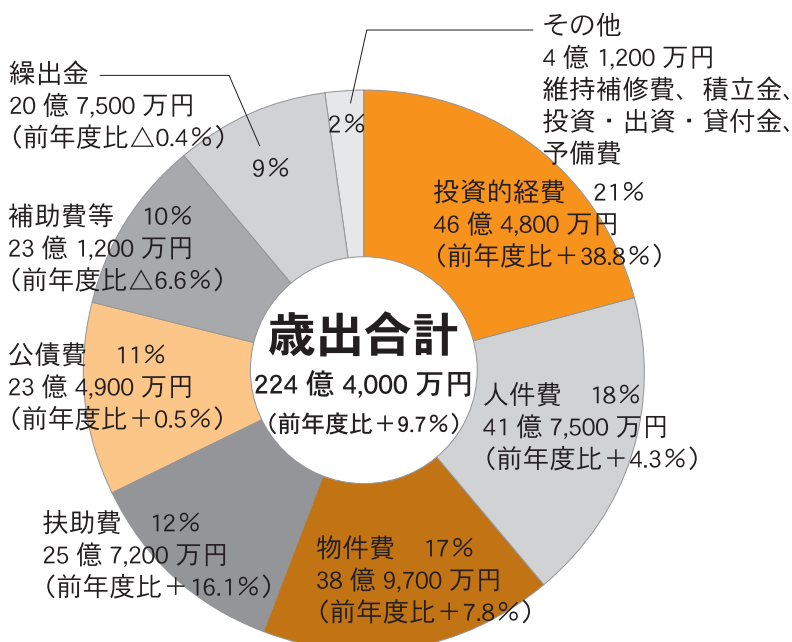
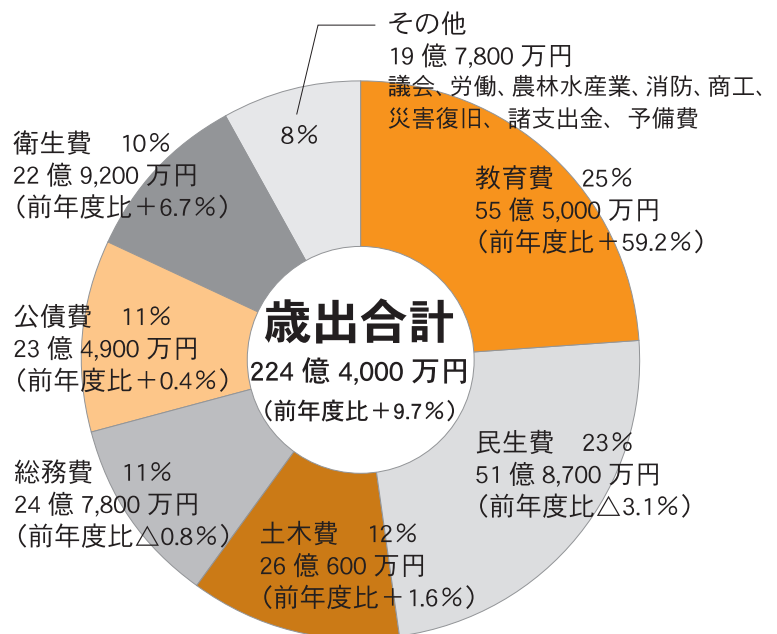


### 【一般会計歳入予算】

一般会計の歳入内訳を見ると、最も多い割合の市税が、減収見込みにより、平成20年度予算の59%から53%に減少しています。また、構成割合のうち2番目・3番目に大きい市債・国県支出金は、市債が前年度の12%から15%に、国県支出金が11%から13%に伸びており、ひたち野うしく小学校建設に伴う増加が最も大きな要因と考えられます。

### 【一般会計目的別歳出予算】

目的別歳出予算の内訳を見ると全体の約25%を占める教育費は、ひたち野うしく小学校の整備などにより59.2%の増加、また、民生費は、保育園整備工事の終了などにより、3.1%の減となっています。さらに、土木費については牛久駅エレベーター・エスカレーターの建設などにより1.6%の増、衛生費は、牛久クリーンセンターの大規模改修、妊産婦健康診査の充実などにより、6.7%の増加となっています。



### 【一般会計性質別歳出予算】

一般会計の歳出の内訳を、経費の使われる性質から分析するため分類したものが左の性質別歳出予算です。

構成割合は投資的経費、人件費、物件費の順となっています。投資的経費の伸びが高いのは、ひたち野うしく小学校建設や向台小学校耐震補強工事に伴う増額によるものです。

また、扶助費の伸びが高いのは、民間保育園開園に伴う運営費負担金などの増額によるものです。